

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 3 月号

1. 支店行動計画発表会 最優秀賞に智頭支店

J A 鳥取いなばは 2 月 2 0 日、鳥取市の同 J A 本店で支店行動計画発表会を 2 年ぶりに開いた。J A 役職員、女性会、青壮年部など約 5 0 人が参加。2 0 2 2 年度の活動報告と 2 0 2 3 年度の計画を発表し、最優秀賞に智頭支店、優秀賞に邑美支店、船岡支店が輝いた。

最優秀賞の智頭支店は、支店独自の交通安全啓発活動を長年続け、新たに町、観光協会などと連携して地域のイベントに参加。J A 事業や活動を知ってもらい、利用につなげる取り組みなどが評価された。



2. 農機職員VR疑似体験 農作業事故ゼロへ

J A 鳥取いなばは 2 月 2 2 日、鳥取市の同 J A 本店で「農機職員向けVR（仮想現実）疑似体験農作業安全研修会」を同 J A として初めて開いた。午前、午後の部に分かれ、県、J A 職員など約 2 5 人が参加した。

重大事故につながりやすい農業機械の事故「乗用型農機の転倒」「歩行型農機の制御」「さまざまな農機との接触」などVRゴーグルを活用して疑似体験。

圃場の危険箇所を確認することや、農業機械を正しく使うことの重要性など事故の未然防止策を学んだ。



3. 第28回JA鳥取いなば女性会通常総代会

JA鳥取いなば女性会は3月4日、鳥取市の同JA本店で第28回通常総代会を開いた。同女性会員、家の光協会、JA役職員ら約60人が出席。2023年度の事業計画を承認した。

役員改選では、会長に船岡支部の上田京子さん、副会長に湖南支部の前田早苗さんと郡家支部の林和子さんを選任した。



4. 愛菜館運営協議会定期総会

JA鳥取いなば愛菜館運営協議会は3月1日、鳥取市の同JA本店で定期総会を4年ぶりに開いた。2022年度の事業報告や2023年度の事業計画などを協議し、地域に愛されるJA直売所として、一層の高品質出荷と出荷量増大を申し合わせた。生産者やJA役職員ら約70人が参加した。

2023年度は、生産技術対策の研修会や25周年イベント、歳末ふれあい感謝祭などのイベントを企画し、JA直売所の魅力発信につなげる。



以上